

〈解答〉

- ① 1 ① ウ ② エ
2 ③ had to finish doing my Japanese homework
④ me what time you had
3 ア
4 〔例〕 毎日朝食を食べない人
5 A very important B to sleep

配点 各2点 16点満点

〈解説〉

- ① 〈対話文和訳〉※先生＝鈴木先生

〈ケイトは2時間目のあとに、職員室で鈴木先生に話しかけました。〉

ケイト：すみません、鈴木先生。気分がよくないんです。

先生：おや、ケイト！ 顔色が悪いですよ。① 大丈夫ですか？

ケイト：いいえ、大丈夫じゃないです。とても疲れています。② 私は昨晚、日本語の宿題を終わらせなければなりませんでした。眠るための十分な時間がなかったのです。今朝の4時に寝ました。

先生：おや、君は保健室で休息する必要がありますね。③ 私がそこまで連れて行きましょう。

ケイト：ありがとうございます、鈴木先生。

〈2時間の授業（3時間目と4時間目）が終わったあと、鈴木先生はケイトの様子を見るために保健室へ行きました。〉

先生：やあ、ケイト。今の具合はどうですか？

ケイト：少しよくなりましたけど、まだ疲れています。

先生：今朝は朝食を食べましたか？

ケイト：いいえ、食べていません。私はたいてい7時に起きて、毎日朝食を食べるのですが、今朝は8時に起きたのです。朝食を食べるための時間はありませんでした。

先生：④ それはよくありませんね。 朝食を食べなかったから疲れたのですよ。

ケイト：毎日朝食を食べることは、とても大切ですが、⑤ 私の友だちのなかには、食べない人もいますよ。

先生：生徒のなかには、朝食を食べない人もいますね。彼らはよく、「とても疲れた」と言いますよ。⑥ あなたが昨日、何時に夕食を食べたか教えてください。

ケイト：7時でした。

先生：今は12時20分ですね。君は約17時間、何も食べていないことになりますよ！

ケイト：やだ、そんなに長く！ 早めに寝て、毎日朝食を食べるように努力します。

先生：分かりました。十分な睡眠をとることも、とても大切ですね。君たちは7時間以上寝るべきですよ。おや、昼食の時間が始まってしまいました。君の給食を持って来ますね。

〈10分後〉

先生：ケイト、戻りましたよ。いっしょに給食を食べましょう。

ケイト：はい、そうしましょう。あら、おいしそうですね！

先生：ケイト、今は大丈夫ですか？

ケイト：はい、大丈夫です。鈴木先生、色々ありがとうございました！

- 1 ① Are you all right? 「大丈夫ですか？」
直前で鈴木先生が、ケイトの顔色を見て、体調を心配している場面である。
- ② That's not good. 「それはよくありませんね。」
直前でケイトが、今朝は朝食を食べなかったことを鈴木先生に伝えている。そのことを知った鈴木先生の発言である。
- 2 ② Last night I **【had to finish doing my Japanese homework】** .
「私は昨晩、日本語の宿題を終わらせなければなりませんでした。」という意味。
 - ・〈have to + 動詞の原形〜〉「〜しなければならない」
 - ・〈finish ~ ing〉「〜し終える」
 - ・〈do one's homework〉「宿題をする」
- ③ Please tell **【me what time you had】** dinner yesterday.
「あなたが昨日、何時に夕食を食べたか教えてください。」という意味。
疑問詞で始まる疑問文が文中に入ると、〈疑問詞+主語+動詞〉の語順になることに注意する。(間接疑問文)
- 3 直前でケイトがお礼を述べており、直前で鈴木先生が、「君(=ケイト)は保健室で休息する必要がありますね」と述べているので、それに続く内容としては、ア「私がそこまで連れて行きましょう」が適切。
- 4 下線部を含む文の前半を参照。この内容をもとに考える。下線部の don't の部分は、前半部分で述べられた内容が省略されている。don't 以下は、don't have breakfast every day という内容である。
- 5 A 会話の半ばの内容を参照。鈴木先生とケイトが、「毎日朝食を食べること」、および「十分な睡眠をとること」が、とても大切だということについて話している。よって、very important などを書き入れる。
B 最後から3番目の鈴木先生の発言を参照。「君たちは7時間以上寝るべきですよ」と述べている。これと同じ内容を、「〜する必要がある」という意味の〈need to + 動詞の原形〜〉を用いて表現するとよい。